

森林経営管理制度の運用による経営管理権集積計画の策定を進め、適切な経営管理が行われていない人工林の森林整備を進めます。県行造林跡地への桜の植樹、駒形山、経塚山、首羽山への登山道や西行桜の森、大文字キャンプ場の環境整備、束稲山の桜情景復活事業などによって誘客効果を高め、利用促進に努めます。

観光の振興



金色堂建立900年を迎える中尊寺

1月から東京国立博物館で開催されている「建立900年特別展 中尊寺金色堂」と併せ、本県が今年10～12月、JR東日本の重点販売地域に指定されたことから、平泉観光推進実行委員会を中心に関係団体が一体となり、各種事業の取

り組みを積極的に推進します。

日本農業遺産に認定された束稲山麓地域の新たな観光資源の発掘と活用により、自然や伝統工芸、坐禅、農業などの体験コンテンツの充実を図り、滞在型観光への取り組みを一層推進します。

商工業の振興

平泉商工会や関係団体などと連携し、引き続き事業者により添った支援を推進します。

新たに、魅力あふれる商店づくり支援事業を展開し、個店の売り上げの向上や地域経済の活性化につながる取り組みを支援します。空き店舗などの実態調査を実施し、現状の把握や所有者の意向確認を行い、新規開店を希望する起業家や事業者とのマッチングなどを見据えて取り組みを進めます。

地域企業経営強化支援事業により事業規模の拡大と雇用の創出を支援するとともに、店舗リフォーム促進支援事業や空き店舗対策事業の補助内容の拡充による支援の強化、販路開拓や新商品の開発などを継続して支援します。

働く場の充実

新たな工業団地の検討と隣接す

必要な移動手段となるよう引き続き運行します。

多様な公共交通の組み合わせにより、町民と観光客のニーズや効率的な運行、公共交通網の維持を図るため、地域公共交通会議を法定協議会に移行して地域公共交通計画を策定し、より良い公共交通網の形成に努めます。

環境保全の推進

電気料金や燃料費が高騰していることから、一般家庭での住宅用新エネルギー設備の設置に対する補助を継続します。

エネルギー回収型一般廃棄物処理施設、マテリアルリサイクル推進施設、新最終処分場の建設は、一関市と一関地区広域行政組合と連携して整備を進めます。

空き家対策の推進

空き家対策は、関連する対策を総合的かつ計画的に推進するとともに、空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正に伴う対応方針について検討します。

空き家・空き地バンクへの物件登録を促進し、空き家などの有効活用を促進するため、専門的に業務を行う地域おこし協力隊員を配

る国道4号の4車線化の実現に向けた取り組みを合わせて進め、若者の雇用の創出を目指します。

商工会やハローワークなどの関係機関・団体と連携・情報共有しながら、企業の動向やニーズの把握、活性化を図るとともに、新たに若者等人材育成支援事業や移住定住促進家賃支援事業を実施し、若者などの町内事業所への就職や移住者の働く場の確保につなげていきます。

安全・安心なまちづくり

町防災マップの更新や避難所運営マニュアルなどの計画を策定するとともに、気象災害や大地震などの大規模災害に備え、消防関係機関・団体、各地の自主防災組織などと一層の連携を深め、防災意識の高揚と地域防災力の強化を図ります。

高齢の運転者による交通事故の防止に向けて、自家用車への安全装置の設置に対する支援を継続するとともに、運転免許証を自主的に返納した高齢者に対して、新たに公共交通利用の生活支援を行います。

要支援者に対する個別避難計画は、地域団体などとの連携協力を

置き、取り組みを強化します。

情報環境の充実

行政サービスの効率化と利便性の向上を図るため、引き続きマイナンバー制度の普及啓発とマイナンバーカードの取得率の向上を促進するとともに、マイナンバーカードを利用したオンラインによる行政手続きの整備に向けて取り組みます。

景観の保全・整備



景観に配慮した建物が並ぶ毛越寺通り

歴史文化的景観や豊かな自然と美しい景観を守り、次世代へ継承するため、町民や地域、企業などが一体となって世界遺産のまちにふさわしい景観の保持に努めます。景観計画は、計画の見直しに向

図りながら計画作成件数の増加に向けて取り組みます。



令和2年度に発行した町防災マップ

町道大佐3号線を含む町道樋の沢大佐線と町道衣関線の整備を引き続き実施し、道路舗装や橋梁修繕を計画的に進めます。

上下水道の整備

水道管の更新や耐震化、鉛製給水管の布設替え工事、水道施設の耐震診断調査を実施し、計画的に更新を実施します。

町下水道事業経営戦略に基づき、経営の質と効率性の向上に取り組めます。合併処理浄化槽の設置を、引き続き支援します。

けた準備を進めます。

教育の振興

町教育大綱に掲げる基本理念「一人ひとりが輝き、幸せを実感できるまちの実現」を目指し、家庭・学校・地域・行政が連携し、世代を超えて学び続けるまちづくりを推進し、さらなる教育の発展を目指します。

平泉の文化遺産の保存と活用

中尊寺金色堂建立900年記念事業として企画展を開催し、奥州藤原氏の平和への希求や文化遺産の理念とその価値を発信します。世界遺産の拡張登録は、県と共に、柳之御所遺跡の推薦に向けて取り組みます。

町長施政方針演述の全文は、町ホームページで確認できます。

→

